

映像情報漏洩 抑止システム

防犯カメラの
映像を管理し、
個人情報保護法に準拠

防犯カメラで監視



映像を閲覧状況を管理していますか？

防犯カメラの映像は、たとえ氏名が分からなくても、個人が識別できるのであれば、『個人情報』に該当します。2022年4月の個人情報保護法の改正で『個人データの安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない』と明示されています。そのため、誰が、いつ、どの監視カメラ映像を閲覧したのかなどを管理する必要があります。

防犯カメラの映像を見る人は大丈夫？

※例として医療機関のイメージで作成しています。

教育機関や、病院、ビル・マンション等の不特定多数が集まる施設において、防犯カメラを設置する場合、より厳格な監視体制を求められます。また、**防犯カメラの録画情報自体が個人を特定する情報となり得ます。**2022年4月に改定された個人情報保護法により、より個人を特定できるデータの取扱いの管理をより強化する対策が求められています。

『映像情報漏洩抑止システム』は、防犯カメラの録画情報を閲覧する際に、特定の人物のみがアクセスできる様にアクセス制御し、録画データ閲覧時間の制限や、情報外部出力の際の人物・機器・時間の特定や記録が可能になります。

映像情報漏洩抑止システムは、『厚生労働省』『国土交通省』『文部科学省』等の個人情報保護に関するガイドラインを元に、学校や病院施設など各施設の規約や要綱に定められている、『防犯カメラの管理・運用』に対応したシステムです。

防犯カメラの閲覧・データ外部出力を、制限・監視・記録システムです

映像情報漏洩抑止システムの機能



防犯カメラの映像を、閲覧できる人・PCを制限します

防犯カメラ映像を閲覧できる人と、閲覧端末を制限し、生体認証によるログイン設定などを行います。
【アクセス制御】
■システムにアクセスできる人、端末を制限します。
【ログイン制御】
■生体認証によるログイン設定を行い、特定の人しかアクセス出来ないよう制限をかけます。



防犯カメラ映像を閲覧できる時間帯を制限

システムに長時間ログインしたままの場合、特に離席時などは情報漏洩の危険性が高まります。そのため、ログイン状況確認画面で、誰が、いつログインし、ログイン後どれだけ経過しかたが確認できます。また、録画データを閲覧できる時間帯を制限することができます。



USB 接続を記録

防犯カメラの映像の不正持ち出しを監視

防犯カメラの映像を閲覧できる端末は、情報漏洩対策として外部ネットワークから遮断するのが一般的です。しかし、録画映像をクラウドやUSBデバイス等へ不正に持ち出され、結果として情報漏洩につながる場合もあります。システムを導入することで、録画映像の持ち出しを監視・記録できるため、情報漏洩対策にもつながります。



閲覧記録をエビデンスとして記録・保存

防犯カメラ映像の閲覧履歴をエビデンスとして記録します。個人情報保護法の改正後は、個人情報の記録や保管、アクセス等、記録の開示義務も発生する場合があります。そのため、問題発生の際は、録画映像の閲覧者、時間、外部出力の有無などの記録は、証拠データとして活用できます。

『厚生労働省』『国土交通省』『文部科学省』等で、個人情報保護に関するガイドラインが定められています。



病院や各種施設など

病院では、診察や入院・お見舞いなど、また、各種施設においても利用者やそのご家族、施設で働く従業員など、様々な人が出入りしています。個人情報保護の観点からも録画記録データの閲覧者管理は重要です。



マンションやビルなど

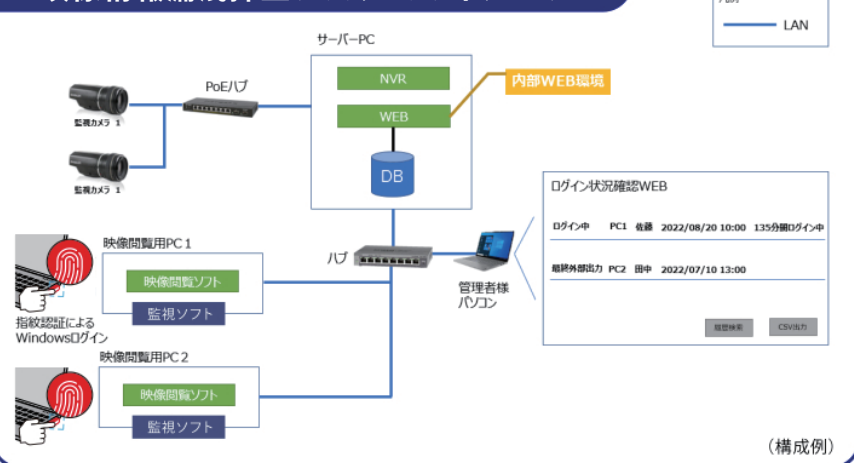
マンションやビルの場合、個人情報は生活の安全にかかわる問題となりやすいため、『組織的、人的、物理的及び技術的安全管理措置を講じなければならない』とされています。防犯カメラ映像が悪用されないためにも録画映像の閲覧者管理は重要です。



教育施設や保育施設

教育施設では、防犯カメラの設置は多く見受けられますが、録画映像の閲覧者管理の部分では、まだ十分とは言えません。録画映像が漏洩した場合、子供たちの身の安全が危ぶまれます。システムを導入することで管理体制の強化が行えます。

映像情報漏洩抑止システムのイメージ



【映像情報漏洩抑止システムの重要性】

～導入のメリット～

- ① 2022年4月に改正された個人情報保護法の『安全管理のために講じている措置』として、アピールできる。
- ② 防犯カメラ映像の閲覧者を記録・管理できる。
- ③ 防犯カメラ映像を閲覧したPCを記録できる。
- ④ 防犯カメラ映像の閲覧時間を記録できる。
- ⑤ 録画データの情報漏洩を防ぐため、USBメモリなどの接続履歴を記録できる。
- ⑥ 過去の閲覧履歴をエビデンスとして保存しておく事ができる。録画データの閲覧管理は、防犯カメラ映像が漏洩していないことの証明にもなる。

映像情報漏洩抑止システムは各業種に対応できる

医療業

見守りシステム



病院防犯カメラの個人情報保護

介護業

見守りシステム



介護施設防犯カメラの個人情報保護

不動産業

オーナー管理



ビル・マンション防犯カメラの個人情報保護

教育・学習支援業

見守りシステム



学校・学童・塾等の防犯カメラの個人情報保護

保育業

見守りシステム



保育施設の防犯カメラの個人情報保護

■ご不明な点は、お気軽にご相談ください。(デモなどもよろこんでご対応いたします。)

ALPHA アルファシステム株式会社

〒990-0828 山形県山形市双葉町1丁目10-8

TEL/FAX : 023-645-9591 / 9593

E-mail : info@alsys.co.jp